

きりん V.G 槻輪だより

会報第30号
発行日 平成19年3月31日
発行・編集 V・G 槻輪
代表者 大岡成一
http://web3.ibj.co.jp/~kirin

わがまち紹介

高槻市の鎮守の森…上宮天満宮

菅原道真(すがわらのみちざね)904年没)をまつる。大宰府に次いで2番目につくられたという古由緒を伝えています。

縁起によれば、道真の霊を鎮めるため、正暦4年(993)に九州・大宰府に赴いた天皇の使い(勅使)が、帰途この地で急に牛車が動かなくなると異変に遭い、調べたところ菅原氏の祖先とされる野見宿弥(のみのおすくね)ゆかりの地であることを知って、ここに道真をまつつたのだといま

す。江戸時代には高槻城主永井直清が拝殿や石鳥居を建てたと伝えられます。JR高槻駅から石鳥居へつづく参道は、かつて松並木が続き、天神の馬場と呼ばれていました。天正10年(1582)山崎合戦の際、秀吉が本陣をおいたといわれています。

天満宮の代表の森嘉和(もりよしかず)さんは、それまでのビジネスの経験を生かして、広い(4万平方メートルの敷地)手つかずの自然原生林・竹林に機械を導入して整備され

都心になりながら心の拠りどころとして、再生されています。

本殿

旧本殿は、豊臣秀吉の寄進を受け、片桐且元の造営によるものだったが、1996年(平成8年)11月放火により焼失、新しい本殿は2002年(平成14年)に我国で初めての試みとして、建材の全てを竹により建立された。



本殿の再建に当っては、日本国内の多くの竹に纏わる専門の方々の意見を聞いて、境内にたくさん有る竹の利用も考え決定されたとのこと。

丸い柱は、接着剤(日本製の接着技術は世界一)を使用し、まず四角の柱にした後丸く仕上げます。この扉も全て竹で出来ています。竹独特の綺麗な茶褐色で、落ち着きがあり厚手です。

拝殿

江戸時代初めに高槻城主の永井直清公の寄進造営したもの。

幕末の文政期に奉納された三十六歌仙絵額が、掲げられている。狛牛も新しくなっていました。

神楽所

楽人たちの奏楽で、巫女が神楽舞いをしたところ。今回改修され何時でも使用出来る様になった。

祭式殿

本殿として(祭神の分霊も鎮座し、ご祈祷の諸祭式はすべてここで行なわれます。和室三つはご祈祷待ちや歓談・寛ぎにまた合会・研修などに使用されます。2階も同じ造りで、ご祈祷も行われます。



本殿の内部には、神殿及び本尊の守り狛が鎮座しています。両側に竹炭がたくさん置いてあります。これは湿気と臭気取りで、すがすがしい本殿内部です。

完成時は、珍しさに全国からの見学者が絶えなかったそうです

璃から曲馬興業などの奉納「高槻城絵図」などが掲げられており、また村々氏子の古い写真が大変懐かしい。

和算の「算額」もある。算額とは、神社や仏閣に奉納した数学の絵馬で、



数学の問題が解けたことを神仏に感謝し、益々勉学に励むことを祈願して奉納されたと思われる

野身神社

野見宿禰(のみのおすくね)は、『日本書紀』に登場する相撲の神で、神社の前で大阪場所前に奉納相撲があったことから絵馬堂には相撲の番付表が奉納されています。

絵馬堂

「菅公一代板絵」の他に様々な絵や押絵、それに相撲・句会・謡曲・浄瑠璃

VG槻輪は、12月に境内の竹を頂き「つきのき学園」の園の利用者と両松を作りまし

4月度行事予定

“銅鐸つくりのまち・さくら通り散策：南茨木”

月 日：平成19年4月5日(木)
集合場所：阪急南茨木駅 改札出口 10:00集合
順 路：阪急南茨木駅 → 茨木市立文化財資料館 → 銅鐸鑄型出土地 → 桜通り～川端通り(元茨木川緑地)

5月度行事予定

“まちなかに残る貴重な緑の空間：京大農場”

月 日：平成19年5月17日(木)
集合場所：阪急高槻市駅 改札出口 13:00集合
順 路：阪急高槻市駅 → 京大農場 本場→安藪賣跡 → 京大農場 古曾部温室→阪急高槻市駅